

美しい貼箱製作



○ 準備と道具

- のり
- 刷毛
- ぞうきん（水で濡らして絞る）
- ゴム板
- のりを入れるバット

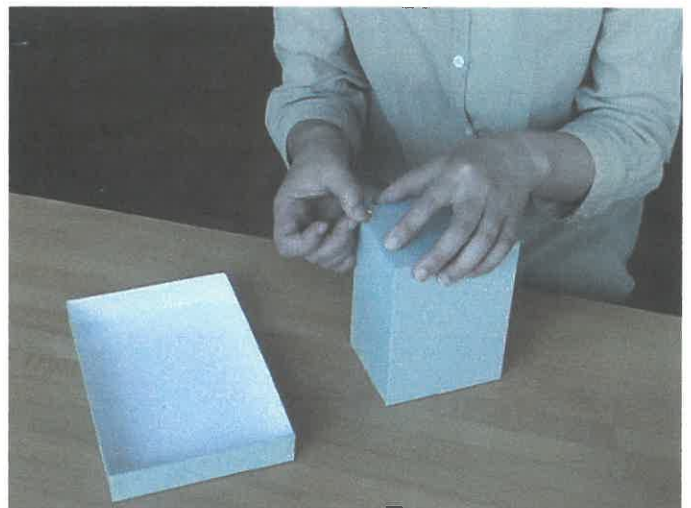
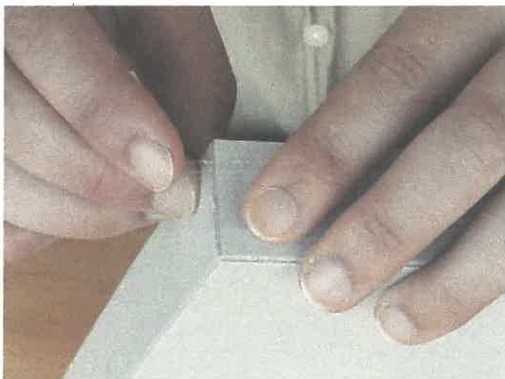


○ 材料はそろっていますか？

- 1 罫線で箱を罫折します。
- 2 箱をセロハンテープで組み立てます。
テープは長すぎず、仕上がりが美しくなるように丁寧にしっかりと角を止めます。

チェックポイント

- セロテープはよれたり重なったりしていませんか。
- 合わせ目は閉じられていますか



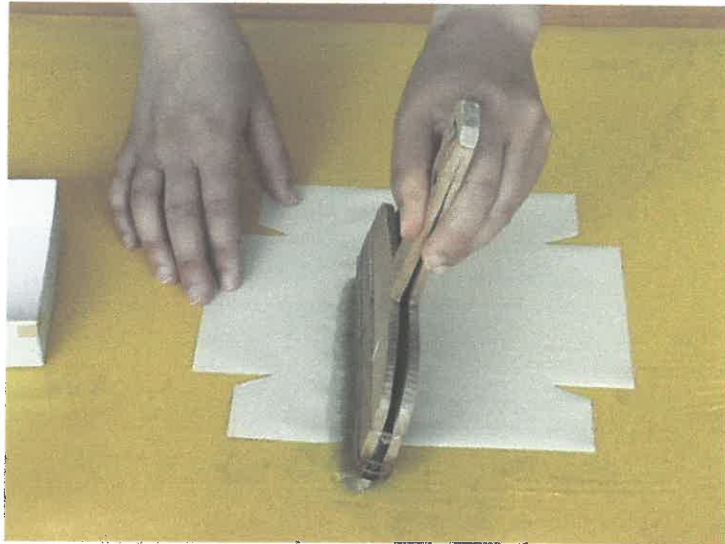
○ 包貼りをしましょう。

- 1 糊の濃さを調節し（固まりがなく刷毛ですくうと、とろっとゆっくり落ちる感じです）
刷毛の糊をパットの端でよくしごいてから紙に塗ります。
刷毛は横方向に使用し、反し刷毛（*1）で毛の流れをそろえて丁寧に使用します。

* 1 紙の中心から右に数回糊を塗り、刷毛の面を裏返します。そしてまた中心から今度は左に数回塗っていきます

チェックポイント

- ・ しっかり全面に糊が塗れていますか？
- ・ 紙にしわは出来ていませんか？
(しわがひどい場合は少し紙を持ち上げながら刷毛で伸ばして直しましょう。)
- ・ 和紙などはすぐには糊がしみ込みません。紙に糊がしっかりしみ込むまで塗ります。

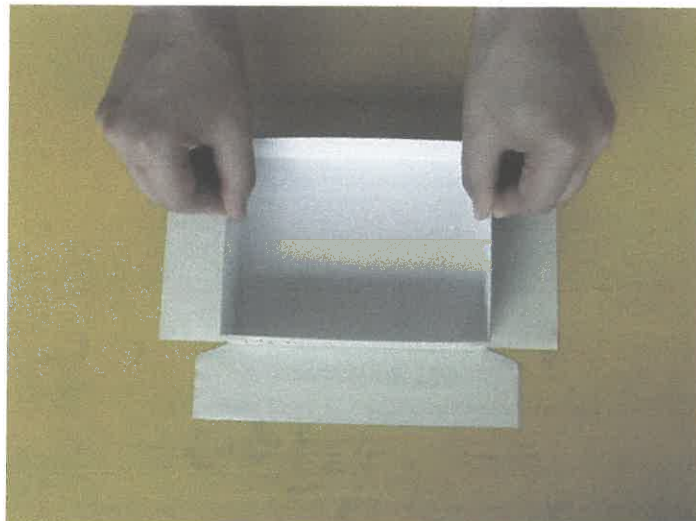


2 位置合わせをします。

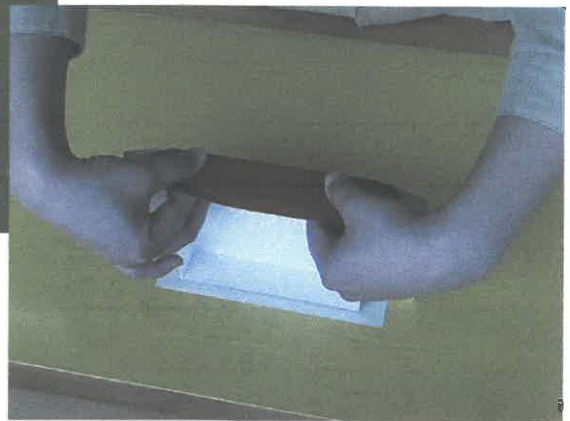
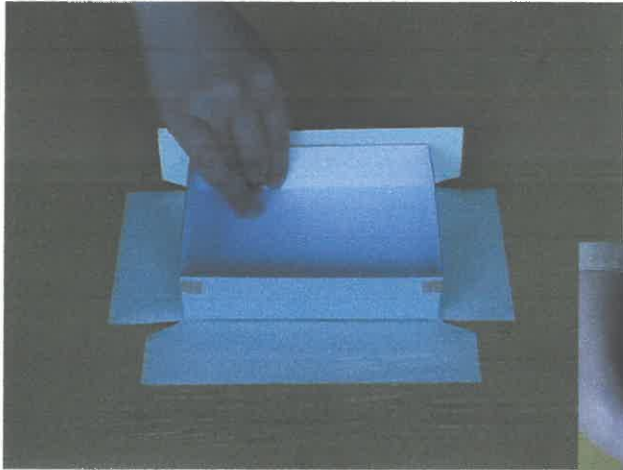
紙のカラス切り（切れ込み）に合わせて箱を中央にきちんと置きます。位置合わせがずれてしまうと美しく貼れません。位置合わせができたなら、指でしっかり箱の中から押さえます。

チェックポイント

- ・ 左右上下の角は紙の切れ込みからはみ出していませんか？
- ・ しっかり中を押さえましたか？

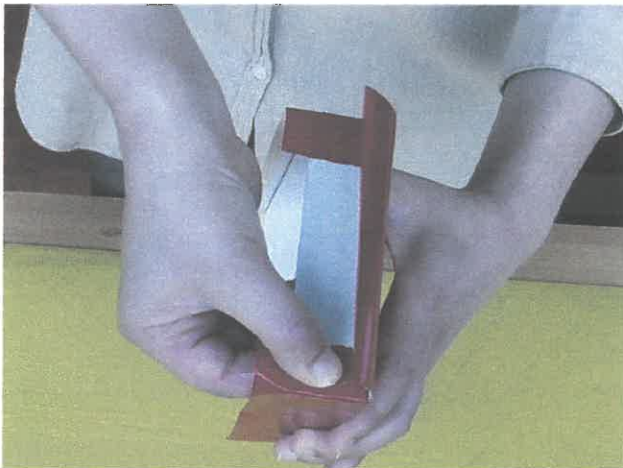


- 3 側面の紙を張ります。空気が角や面に入らないように手のひらや指を使って丁寧に貼っていきます。



4 耳折

角の処理を耳折と言います。空気が入りやすいのでしっかり押さえて貼りましょう。



チェックポイント

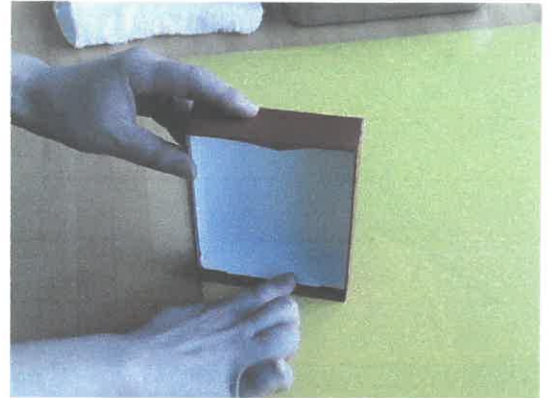
- 面に浮き（空気）はありませんか？
- 角はしっかり耳折できていますか？

5 中折込み

紙を中にしっかりと折り込んでいきます。

紙が浮き上がってこないように、しっかりと中に押さえ込みましょう。

最後は箱の面を机にあててしっかりと指でこすって押さえ込みます。

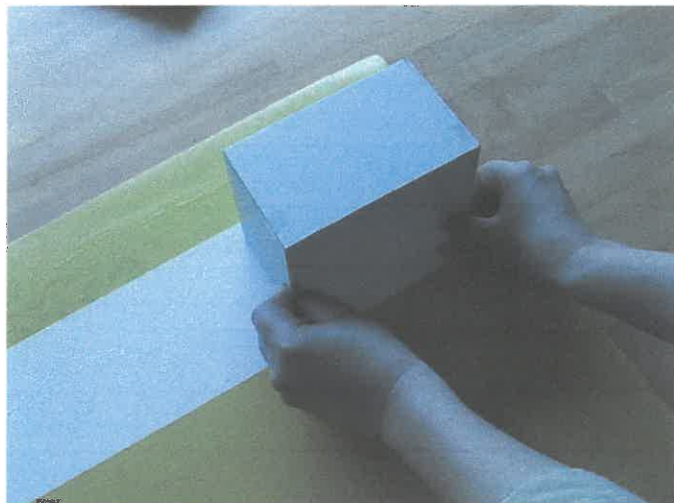


これで包貼りは完成です。

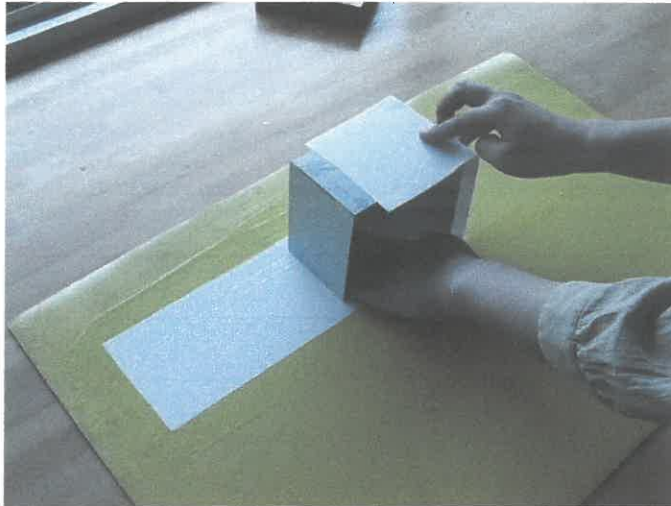
○ 巻貼をしましょう。

1 巻貼の紙は長いので、しわがでないように刷毛を紙の中心から端に向かって左右両方丁寧に糊を伸ばしてつけます。しわがきつい場合は一度ゴム板から紙を浮かせて空気を抜きながら刷毛で伸ばします。

2 箱を横にして上下の余りをだいたい同じになるように紙に置きます。



- 3 箱の中に手を入れて紙と箱を接着させながら一面一面転がすように紙を貼り付けていきます。紙の巻き始めから終わりまで、平行に巻けるようにすることが美しく仕上がるポイントです。

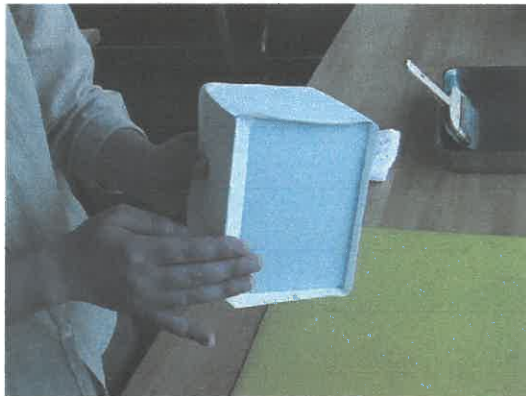


チェックポイント

- ・巻きはじめと巻き終わりの紙の位置は合わせられましたか？（ずれてしまった時は始めから巻き直しましょう）
- ・面に空気は入っていませんか？

- 4 底折をします。

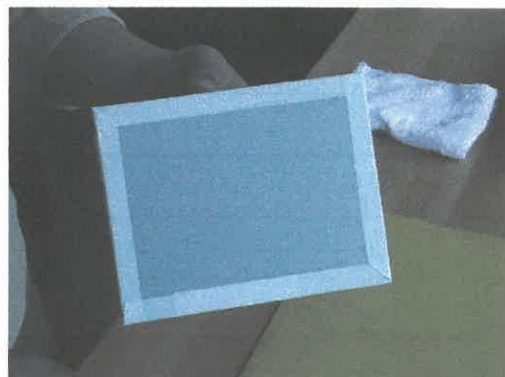
それぞれの面ごとに折って貼り付けていきます。角の三角部分は糊を指で付け足してしっかりと押さえます。



底折が完成した写真です→

チェックポイント

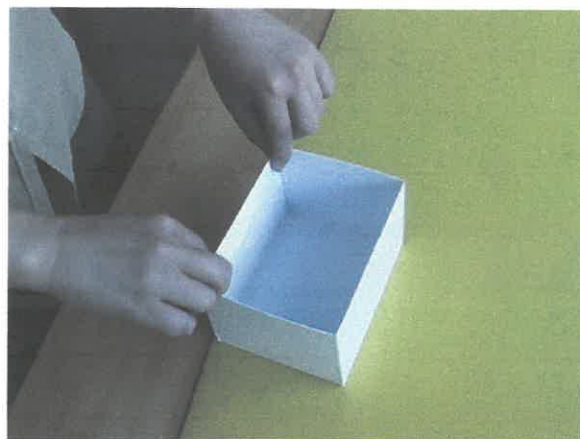
- ・紙は箱から浮いてきていませんか？



・四隅もきちんと貼れていますか？

5 中折込み

包張りの時と同様に紙が浮いてこないように、
どの面もしっかりと折り込んでこすりします。

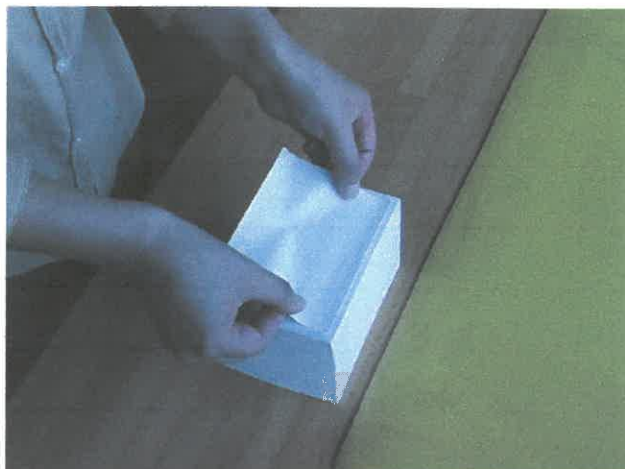


6 最後に底貼をします。

底面の中心に貼れるように、向こう上面から位置を合わせてゆっくりと静かに平らに
伸ばしながら貼っていきます。

チェックポイント

- ・底の中心に紙が貼れていますか？
- ・空気は入っていませんか？



美しい貼箱の完成です。

